

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	071200140		
法人名	すまいるモダ株式会社		
事業所名	グループホームすまいる うれし館		
所在地	〒061-1406 恵庭市和光町4丁目8番20号		
自己評価作成日	平成23年2月17日	評価結果市町村受理日	平成23年4月12日

事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://77.system.kaigojoho-hokkaido.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0171200140&SCD=320
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人 福祉サービス評価機構Kネット
所在地	札幌市中央区南6条西11丁目1284番地4 高砂サニーハイツ401号室
訪問調査日	平成23年3月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域にとけこんだ事業運営。町内会活動と一緒に参加していること。独自のイベントで町内会に事業所の周知と理解をもとめている。町内会のボランティアの協力を得て良い関係を作っている。ネットワークの会を通して互いに交流を持ちながらよいことを取り込む努力をしている

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所の基本理念「安全で・楽しく・穏やかに」は、安心して暮らせる社会づくりのお手伝いをしたいとの思いで作られている。建物は2階建ての2ユニットで、室内は広く明るい。玄関、室内には適所に手すりが設置され、安全面に配慮された造りとなっている。
 事業所は地域との連携に力を入れ、町内会の会員として地域行事へ積極的に参加し、また事業所行事には地域住民のお手伝いがあり、双方向の交流がある。職員は各種研修に参加し、適切な介護技術で利用者の立場に立ったサービスの提供に努めている。利用者・家族は、職員の明るい声と笑顔での接遇に意見、要望が言いやすく安心と信頼につながっている。
 事業所発行の「すまいるだより」は、利用者の日常の様子や外出行事の写真と共に、個々の医療情報も載り、楽しみな通信となっている。開設以来、地域に密着した安心して暮らせる事業所として期待されている。

. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) 項目 1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します			
項目	取り組みの成果 該当するものに 印	項目	取り組みの成果 該当するものに 印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)		

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	「安全で楽しく穏やかに」という理念を共有し、日々、一人、一人に合ったケアを目指し、実践している	事業所が目指す地域密着型サービスの意義と役割を基本理念に掲げている。理念は職員間で共有し日々の介護に活かしている。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一員として日常的に交流している	散歩の時など地域の人たちに合った際には、挨拶をかわしたり、町内会のゴミ拾いなどにも参加している	隣近所との良好な関係を築きたいとの思いで町内会に加入し、老人会の活動にも参加している。「すまいる夏祭り」には家族や多数の地域住民がボランティアとして参加する等積極的な交流がある。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	近所のボランティアの方たちの行事の際のお手伝いなどを通して認知症の方への理解を深めていただくなどの機会がある。		
4	3	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	活動内容や事故報告などをおこない、それについての意見などについて取組をおこなっている	運営推進会議には地域代表・民生委員・地域包括職員・市職員・消防署職員等が出席し定期的に開催している。運営状況報告や行事、ボランティア受入れ状況、避難訓練の報告等があり、そこでの意見をサービスの質の向上に活かしている。	
5	4	市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議は2ヶ月に1回おこない様子を伝え、行事もお手伝い頂いている	恵庭市グループホームネットワークの会に加入し、運営推進会議や連絡協議会以外でも情報を得てケアサービスに取り組んでいる。市担当者からは事故報告の家族への対応についても助言を受けている。	
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	夜間以外は施錠はおこなっていないし、拘束はおこなっていない	管理者は身体拘束の弊害を日常業務を通して指導し、言葉使いや介護場面での実際のケアの事例を用いて職員に気づかせている。高齢者虐待防止推進研修会に職員が参加し報告を兼ねた勉強会で共有している。また日中玄関の施錠はしていない。	
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の研修に参加する機会をもうけ、会議などで職員全員が共通の理解を持てる様に努めている		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度については今年度は学ぶ機会がなかった。			
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時には十分契約書の内容を確認していただき疑問や不明な点についてはその都度、わかりやすく説明している			
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	来訪時にはできる限り家族と話し、意見等を聞くよう努め、意見等については真摯に受け止め、その都度改善等に努めている。	利用者・家族からの意見、要望は日ごろから話しやすい雰囲気ですぐに接し、出された苦情、要望等は速やかに対応しそれらを運営に反映させている。		
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	代表者及び管理者はできる限り現状を把握するよう努めている。また、職員とも気軽に話す関係を作り、意見や提案を取り入れている	職員会議や面談以外に常日頃から職員の意見や提案を聞く機会を設け反映させるよう努めている。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は職員の勤務状況等の把握に努め、職場環境、条件の整備に努めている。			
13		職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	回覧などで研修案内があり、希望者は受講ができる			
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホームネットワークの会を通して研修に参加する機会がある			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	不安を持たずにホームになじめるように、スタッフも心がけている			
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族にも様子を聞きながら要望なども聞いている			
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	最初はホームでの生活になじむことを希望されることが多くみられ、その部分を主に支援することが多い			
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として色々なところで工夫し利用者中心に生活をしている。共有できる関係を築いている			
19		本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の事情を理解しながら時々、家へ外泊できる様に支援をおこなっている方もいる			
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	その場所へ行く際は連絡をいれ連携をとるようにする支援をおこなっている	知人友人等の面会は利用者の身体状況に配慮しながら支援している。馴染みの場所や友人宅等への訪問希望があれば可能な限り支援に努めている。		
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	トラブルなどを回避しながら、少しでも利用者同士が楽しくすごせるような雰囲気作りをおこなっている。			

自己評価	外部評価	項目	外部評価	
			自己評価 実施状況	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	契約を終了した家族が遊びに来てくれることがあり、その家族の様子を聞く機会がある	
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	機会ある時に話を聞いている。困難な時にもその人の気持ちを考え検討している	家族等からの情報と共に日々の関わりの中での会話・表情・行動から思いや意向の把握に努めている。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	情報は出来るだけ把握するよう努めているが、情報不足の方もいる	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の様子はスタッフ間で申し送られ把握されている	
26	10	チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	毎月のケア会議でモニタリングがおこなわれ、次の介護計画に意見が反映されている	介護計画を作成する際、本人・家族等から意見や要望を聴き取り、毎月のケア会議で利用者の暮らしをより良くするための話し合いが行われ現状に合った介護計画を作成している。
27		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の様子は個別の介護記録に記入し情報及び連絡事項などにおいては、申し送りやカードックスなどを利用し把握している	
28		一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	できるだけ、その人に合わせたケアをすることを目標としており、中には家に帰るための支援をおこなっている人もいる。	
29		地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会の方からお誘いがあり、一部の人はあるが餅つき会や花見などに参加することがある	
30	11	かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居前から行っている、かかりつけ医へ受診を継続。そのまま適切な医療が受けられている	利用者や家族が希望するかかりつけ医の受診支援を行っている。緊急時に受入可能な協力病院との連携体制があり適切な医療を受けられるように支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	情報や気づきに関してはすぐ看護職員に伝え指示を受けている			
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	医療的な問題に関しては看護師が対応し家族、病院関係者との連絡調整はうまく行えている			
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	特別な文書化などされてはいないが、一人ひとりの状況に応じ、家族と話し合い、方向を共有する等についてはできている。	本人・家族とは納得の行く支援ができるように早い段階で話し合いや意向の把握を行っている。	重要事項説明書に重度化における指針等の記載があるが方針を共有するにあたって看取り介護に関する体制の文書化が望まれる。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	全てのスタッフではないが、昨年も研修に参加した			
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	地域参加型で避難訓練をおこなったり研修に参加したりしている	避難訓練は年2回実施し、緊急連絡網を全職員が携帯し避難経路の確認をしている。全館スプリンクラーが設置され防災設備等も完備している。		
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	言葉、態度により利用者を傷つけない様注意して対応した支援がおこなわれている	利用者一人ひとりの立場に立ち、接する態度や言葉かけが馴れ合いにならないよう気をつけている。書類は適切に保管されている。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	小さなことではあるが、散歩も希望したときには、例え一人でも行くように心がけるなどしている			
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者個々のペースを大切にし、自由に暮らしている。希望にそえるように支援している			
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一人ひとり、生活に合った身だしなみや好みに合わせたおしゃれを支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の気分や体調を考え出来る時は一緒に準備や片付けをしている	利用者の好みを把握し献立に反映させている。地元の食材や旬の食材を十分に使った食事は食べる楽しみにつながり、一緒に食卓を囲み楽しい雰囲気となっている。		
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その人によっては食べ易いようきざんだり色々な種類の飲み物を用意するなど日々支援している			
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	ストレスがたまらないように、その人に応じた口腔ケアをおこなっている			
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	時間を見計らってトイレ誘導するなどしている	職員は一人ひとりの排泄パターンを把握し、表情や動作でさりげなく誘導しトイレでの排泄の自立支援に努めている。		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分摂取のため何種類もの飲み物を用意したり、食物繊維を多くとれるよう配慮している			
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	拒否がある時は無理にすすめず、気分が高まる様にコミュニケーションをとり、本人の意思で入浴できるよう支援している	利用者の体調に配慮しながら時間帯や長湯、シャワー浴など個々の希望に合わせた入浴支援をしている。		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの体調や生活習慣に応じ気持ち良く眠れるよう支援している			
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	特に薬が変わった時など症状をよく観察している			
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の生活習慣や身体状況を踏まえ花壇、畑づくり、買い物、散歩を支援している			

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
49	18	<p>日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している</p>	<p>体調や希望に合わせ、散歩、買い物にでかけている。天気の良い日はドライブにも参加している</p>	<p>日常的に散歩や買い物に出かけている。毎年季節行事を実施し、家族の協力も得られた。また、他のグループホームと合同でりんご狩りを楽しむ等外出の支援をしている。</p>		
50		<p>お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>ほとんど、おこなっていないが、昨年、整骨院に通った方がいてその時、自分で管理してもらった支援をおこなった。</p>			
51		<p>電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている</p>	<p>本人希望の際にはいつでも、電話ができるようになっている</p>			
52	19	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共有の空間の壁には利用者の行事写真が飾られ、トイレ、廊下、浴室には手すりが設置されている。季節感を出すため花や絵などを飾っている</p>	<p>廊下や居間には利用者の行事写真や絵、家族からの鉢物が置かれ季節感を出している。不快な音、光、臭いがないよう配慮されている。</p>		
53		<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共有空間の中で独りになれる場所は作っていない。気の合った利用者はソファや食卓ですごしている</p>			
54	20	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人の使い慣れた家具、生活用品を家庭から持参してもらい、心地よく過ごせるように工夫をしている</p>	<p>居室には使い慣れた家具、日用品、家族写真、仏壇等が置かれ自分の部屋として居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
55		<p>一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>各居室にや共有で利用するところには必ずネームプレートをつけている</p>			